

受験番号

午前の部

# 登録販売者試験

(平成20年8月31日実施)

## 試験問題

医薬品に共通する特性と基本的な知識・・・ 問 1 ～問 20  
主な医薬品とその作用・・・・・・・・・・・・ 問 21～問 60

### 注意事項

- 試験開始のアナウンスがあるまで、問題を開かないこと。
- 試験監督員のアナウンスにより、問題用紙の表紙に受験番号を記入するとともに、解答用紙に氏名及び受験番号（6桁）を記入すること。  
(注) ①受験番号は、算用数字で記入すること。  
②解答用紙の「受験番号記入欄」には、受験番号に対応した数字をマークすること。
- 問題用紙は、表紙を除いて30ページある。試験開始後、乱丁等がないかを確認し、異常があるときは速やかに試験監督員に申し出ること。
- 各問題について、答えを一つ選び、その番号のカッコの中全体をHBより濃い黒鉛筆で濃くぬりつぶすこと。(下記(例)参照)

(例)【問150】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

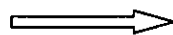
- a.  $1+1=2$ である。
- b.  $5-3=3$ である。
- c.  $1 \times 2=2$ である。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

aは正、bは誤、cは正であるから、正しい答えは「1」となる。

よって、問題番号に対応した解答用紙の番号「150」欄の「1」をぬりつぶすこと。

150
[1]
[2]
[3]
[4]
[5]



150
■
[2]
[3]
[4]
[5]

なお、答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残った場合は、修正または解答したことにならないから注意すること。

- 解答用紙の<注意事項>もよく読んでおくこと。

大阪府

## 医薬品に共通する特性と基本的な知識

### 【問1】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品が人体に及ぼす作用は、複雑ですべてが解明されているわけではない。
- b. 医薬品は、人の疾病の治療に使用されるものであり、予防のために使用されるものではない。
- c. 一般用医薬品は安全性が確認された成分だけで構成されているので、重篤な副作用が起こることはない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

### 【問2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、添付文書や製品に必要な情報が記載されている。
- b. 一般用医薬品は、添付文書に記載されている用法用量を変更して服用しても問題ない。
- c. 一般用医薬品は、医療用医薬品と異なり、安全性が高いので市販後の安全性の確認が行われる仕組みになっていない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	正	正	誤
5	誤	正	正

【問3】

次の a～c の ( ) に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

WHO（世界保健機関）の定義によれば医薬品の副作用とは、「疾病の（ a ）、診断、治療のため、又は（ b ）の機能を正常化するために、人に（ c ）用いられる量で発現する医薬品の有害かつ意図しない反応」である。

	a	b	c
1	検査	中枢神経	通常
2	検査	中枢神経	通常より多く
3	検査	身体	通常より多く
4	予防	身体	通常
5	予防	身体	通常より多く

【問4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 薬理作用とは、薬物が生体の生理機能に影響を与える作用のことをいう。
- b. 医薬品の主作用以外の反応は、全て副作用として扱われる。
- c. 医薬品の副作用は、薬理作用によるものと、アレルギーに大別される。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問5】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の添加物は、アレルギーを引き起こす原因物質とはならない。
- b. 医薬品によるアレルギーは、全て薬理作用によって引き起こされる。
- c. 医薬品によるアレルギーで、じんましん、しっしん、かぶれなどの症状が引き起こされることがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問6】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アレルギーには、遺伝的な要素がある。
- b. アレルギーには、体質的な要素がある。
- c. 病気等に対する抵抗力が低下しているときは、思わぬアレルギーを生じることがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	誤	誤

【問7】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 副作用は、血液や内臓機能への影響のように、直ちに明確な自覚症状として現れないこともある。
- b. 人体に直接使用されない医薬品は、使い方を誤っても有害事象につながらない。
- c. 一般用医薬品は、通常、その使用を中断することによる不利益よりも、重大な副作用を回避することが優先される。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問8】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、購入者等の誤解や認識不足のため適正に使用されないことがあるため、登録販売者は、購入者に対し正しい情報を適切に伝えていくことが重要である。
- b. 一般用医薬品は、その目的とする効果に対して副作用が生じる危険性が最小限となるよう、使用する量や使い方が定められている。
- c. 一般用医薬品には、習慣性や依存性のある成分を含んだものはない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	正	正

【問 9】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品と特定の食品と一緒に摂取した場合、医薬品の作用が増強したり、減弱したりすることがある。
- b. 酒類は、医薬品の吸収や代謝に影響しない。
- c. 相互作用には、医薬品が吸収、代謝、分布又は排泄される過程で起こるものと、医薬品が薬理作用をもたらす部位において起こるものがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 10】

次の a～c の医薬品の使用上の注意に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 乳児とは、おおよその目安として、1歳未満の者をいう。
- b. 幼児とは、おおよその目安として、5歳未満の者をいう。
- c. 小児とは、おおよその目安として、12歳未満の者をいう。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	誤

【問 1 1】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 小児は大人と比べて身体の大きさに対して腸が短く、服用した医薬品の吸収率が低い。
- b. 小児は大人と比べて医薬品の成分が脳に達しやすいため、中枢神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。
- c. 小児は大人と比べて肝臓や腎臓の機能が未発達であるため、医薬品の代謝・排泄に時間がかかる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問 1 2】

医薬品の使用上の注意において、高齢者という場合には、おおよその目安としての年齢区分を次の 1 ~ 5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. 55歳以上    2. 60歳以上    3. 65歳以上    4. 70歳以上    5. 75歳以上

【問13】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般に高齢者は生理機能が衰えつつあり、特に肝臓や腎臓の機能が低下していると医薬品の作用が強く現れやすい。
- b. 一般に高齢者は、基礎体力や生理機能の衰えに個人差がなく、年齢のみから医薬品によるリスクを判断することができる。
- c. 一般用医薬品を生理機能が衰えつつある高齢者に使用する場合は、定められた用量よりも、多い用量で使用する。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	正	誤	誤

【問14】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 便秘薬には、流産や早産を誘発するおそれがあるものがある。
- b. 妊婦が一般用医薬品を使用するときは、胎児への影響を考えなくてもよい。
- c. ビタミンA含有製剤は、胎児への影響はなく安全とされている。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤



【問15】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の品質が劣化しても、効き目が低下することはない。
- b. プラセボ効果とは、医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じることをいう。
- c. 医薬品は、適切な保管・陳列がなされれば、経時変化による品質の劣化はない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問16】

次の a ~ c の一般用医薬品の販売における登録販売者の対応に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 登録販売者は、購入者（患者）に対し、幼児が使用する場合には、全ての一般用医薬品において大人の用量の半量が最も効果的な用量であると説明した。
- b. 登録販売者は、かぜ症状の購入者（患者）に対し、かぜ薬を一定期間使用しても症状が改善しない場合には、倍量のかぜ薬を服用するよう説明した。
- c. 登録販売者は、購入者（患者）の症状を確認したところ、患部が広範囲で症状が重いので、一般用医薬品での対処は不適當であると考え、医療機関の受診を勧めた。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	正

【問17】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. サリドマイド訴訟とは、サリドマイド製剤を使用したことにより亜急性<sup>せきすい</sup>脊髄視神経症<sup>りかん</sup>に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. サリドマイドは、胎盤関門を通過しないので胎児には移行しない。
- c. サリドマイドによる薬害事件は、日本のみでなく世界的に問題となった。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	正	誤	正
5	誤	正	誤

【問18】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. スモンの原因であるキノホルム製剤は、当初、結核の特効薬として使用されていた。
- b. サリドマイドによる薬害事件を契機に、各国における副作用情報の収集体制の整備が図られることとなった。
- c. スモン訴訟、サリドマイド訴訟を契機として、医薬品副作用被害救済制度が創設された。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問19】

次の a～c のクロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. CJDは、治療法が確立されている。
- b. CJDは、次第に認知症に類似した症状が現れる。
- c. CJDは、死に至る重篤な神経難病である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問20】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 生物由来の医薬品等によるヒト免疫不全ウイルス（HIV）やクロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）の感染被害を契機に生物由来製品による感染等被害救済制度が創設された。
- b. キノホルム製剤は、日本で現在も製造販売されている。
- c. サリドマイド製剤は、日本では1962年当時製造販売が中止された。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

## 主な医薬品とその作用

### 【問 2 1】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. かぜ薬は、ウイルスの増殖を抑えたり、体内から取り除くものである。
- b. かぜ薬に配合されるグアイフェネシンは、去痰<sup>たん</sup>成分である。
- c. かぜ薬に配合される塩酸ブロムヘキシンは、解熱鎮痛成分である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	正

### 【問 2 2】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アスピリンを含む一般用医薬品は、15歳未満の者に対してはいかなる場合も使用しないこととなっている。
- b. アスピリンには血液を凝固させる作用がある。
- c. アスピリンは、ピリン系解熱鎮痛成分である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問23】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ブロムワレリル尿素は、脳の興奮を抑え、痛み等を感じる感覚を鈍くする作用を示す。
- b. 抗ヒスタミン成分を含有する内服薬を服用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- c. 塩酸ジフェンヒドラミンは、抗ヒスタミン成分である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	正

【問24】

次の a～c の ( ) に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

塩酸メクリジンは、他の抗ヒスタミン成分と比べて作用が現れるのが ( a )、持続時間が ( b )、専ら ( c ) 薬に配合されている。

	a	b	c
1	遅く	長く	眠気防止
2	早く	短く	眠気防止
3	遅く	長く	乗物酔い防止
4	早く	長く	乗物酔い防止
5	遅く	短く	乗物酔い防止

【問25】

中枢神経系に作用して咳を抑える成分の正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩化リゾチーム
- b. 塩酸メチルシステイン
- c. 臭化水素酸デキストロメトルファン
- d. ヒベンズ酸チペピジン

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問26】

次のa～cのリン酸コデインに関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. モルヒネと同じ基本構造を持ち、依存性がある成分である。
- b. 副作用として下痢が現れることがある。
- c. 痰の切れを良くする成分である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	正

【問27】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. トローチ剤やドロップ剤は<sup>か</sup>噛み砕いて飲み込んでも効果は期待できる。
- b. 一般用医薬品の口腔咽喉薬<sup>くわういんこう</sup>に配合される塩化セチルピリジニウムは、殺菌消毒成分である。
- c. 含嗽薬<sup>もく</sup>の使用後すぐに食事を摂ると、殺菌消毒効果が薄れやすい。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	誤	正

【問28】

次のa～cのポピドンヨードが配合された含嗽薬<sup>もく</sup>に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ポピドンヨードは、喉<sup>のど</sup>の粘膜を刺激から保護する目的で配合されている。
- b. まれにショック（アナフィラキシー）を生じることがある。
- c. 銀を含有する義歯が変色することがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問29】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 吐き気や嘔吐は、<sup>ずい</sup>脊髄にある嘔吐中枢の働きによって起こる。
- b. 制酸薬の配合成分としては、胃酸の働きを強めるもの、胃液の分泌を促すものなどが用いられる。
- c. 健胃薬は、<sup>た</sup>唾液や胃液の分泌を促して胃の働きを活発にする作用がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問30】

「<sup>や</sup>痩せ型で腹部筋肉が弛緩する傾向にあり、胃痛又は腹痛があつて、ときに胸やけ、げっぷ、食欲不振、吐き気などを伴う人における、神経性胃炎、慢性胃炎、胃アトニーに適する。」とされる漢方処方製剤を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. <sup>あんちゆうさん</sup>安中散    2. <sup>しゃくやくかんぞうとう</sup>芍薬甘草湯    3. <sup>しょうせいりゅうとう</sup>小青竜湯    4. <sup>ちよれいとう</sup>猪苓湯    5. <sup>まおうとう</sup>麻黄湯



【問 3 1】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 水分の吸収は大半が小腸で行われる。
- b. 腸の働きは自律神経系により制御されている。
- c. センナは、大腸を刺激して排便を促すことを目的として用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問 3 2】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 次硝酸ビスマスは、止瀉成分である。
- b. タンニン酸アルブミンは、瀉下成分である。
- c. 牛乳にアレルギーがある人は、タンニン酸アルブミンが配合された一般用医薬品の使用を避ける必要がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問33】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 臭化ブチルスコポラミンは、副交感神経系を刺激し、胃液分泌を抑制する成分である。
- b. 抗コリン成分は、副交感神経の伝達物質であるアセチルコリンと受容体の反応を妨げる。
- c. ロートエキスは、抗コリン作用を示すアルカロイドを豊富に含む生薬成分である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問34】

次の a ~ c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. センソは、心筋の収縮力を弱める作用がある。
- b. センソは、シカ科のジャコウジカ又はその近縁動物の雄のジャコウ腺分泌物を乾燥したものである。
- c. センソが配合された内服固形製剤は、口中で噛み砕くと舌が麻痺することがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問35】

高コレステロール改善薬として用いられる成分を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. カフェイン
2. グリセリン
3. ゴオウ
4. サントニン
5. パンテチン

【問36】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 鉄製剤は、鉄欠乏性貧血に対して不足している鉄分を補充し、造血機能の回復を図る医薬品である。
- b. 鉄製剤を服用すると便が白くなることがある。
- c. 貧血用薬には、ヘモグロビン産生や赤血球の形成に働くビタミン成分として、ビタミンAが配合されている場合がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	正	正	誤
5	誤	誤	正

【問37】

痔疾患に伴う局所の感染を防止することを目的として配合される成分の正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. イソプロピルメチルフェノール
- b. 塩酸クロルヘキシジン
- c. 塩酸テトラヒドロゾリン
- d. リドカイン

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問38】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. センキュウは、血行を改善し、血色不良や冷えの症状を緩和する。
- b. センブリは、女性の月経や更年期障害に伴う諸症状の緩和に用いられる。
- c. 桃核承気湯とうかくじょう まとうは、構成生薬としてダイオウを含む。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問39】

次のa～cの塩酸プソイドエフェドリンに関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 鼻粘膜の充血や腫れ<sup>は</sup>を和らげる目的で配合される。
- b. 副作用として不眠や神経過敏が現れることがある。
- c. 交感神経系を刺激して鼻粘膜の血管を拡張させる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問40】

次のa～cの一般用医薬品のアレルギー用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アレルギー性鼻炎の発生には、生体内の伝達物質であるヒスタミンが関与している。
- b. アレルギー症状が現れる前から予防的に使用することは適当でない。
- c. アトピー性皮膚炎による慢性湿疹<sup>しん</sup>の症状に用いることを目的とするものはない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問41】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 点眼の際に容器の先端がまぶたやまつげに触れると、雑菌が薬液に混入して汚染を生じる原因となる。
- b. 点眼薬を家族で共用することは、適当でない。
- c. 点眼薬の副作用は、目に現れることはあるが、全身に現れることはない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	正	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問42】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. コンタクトレンズをしたままでの点眼は、添付文書に使用可能と記載されていない限り行わないことが望ましい。
- b. 点眼薬に防腐剤として含まれる塩化ベンザルコニウムは、ソフトコンタクトレンズに吸着されない。
- c. 1回使い切りタイプとして防腐剤を含まない点眼薬は、ソフトコンタクトレンズ装着時にも使用できるものがある。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	誤	誤
4	正	正	誤
5	正	誤	正

【問43】

目の調節機能を改善する配合成分に関する記述について、次のa～dの（ ）に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

目を酷使すると、アセチルコリンを（ a ）する酵素（コリンエステラーゼ）の働きが（ b ）なり、目の調節機能が低下する。（ c ）は、コリンエステラーゼの働きを（ d ）作用を示し、目の調節機能を改善する。

	a	b	c	d
1	分解	活発に	メチル硫酸ネオスチグミン	抑える
2	合成	鈍く	塩酸ナファゾリン	促す
3	合成	鈍く	メチル硫酸ネオスチグミン	促す
4	分解	活発に	塩酸ナファゾリン	抑える
5	合成	活発に	塩酸ナファゾリン	抑える

【問44】

次のa～cのきず口等の殺菌消毒成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アクリノールは、比較的刺激性が強く、創傷患部にしみやすい。
- b. 塩化ベンザルコニウムは、石鹼との混合により殺菌消毒効果が低下する。
- c. エタノールは、皮膚刺激性が弱い。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	誤	正	正

【問45】

次の a～c の外皮用薬に使用されるステロイド性抗炎症成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. プロスタグランジンの産生を促進する作用がある。
- b. 末梢組織の免疫機能を高める作用がある。
- c. 化膿<sup>のう</sup>している患部には使用を避ける必要がある。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問46】

ステロイド性抗炎症成分の正しい組み合わせを次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙へ記入しなさい。

- a. グリチルリチン酸
- b. ケトプロフェン
- c. デキサメタゾン
- d. ヒドロコルチゾン
- e. ブフェキサマク

1. (a, b)    2. (a, e)    3. (b, c)    4. (c, d)    5. (d, e)



【問 4 7】

次の a～c のケトプロフェンを配合した外皮用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. オキシベンゾンでアレルギーを起こしたことがある人は使用を避ける。
- b. 副作用として光線過敏症を生じることがある。
- c. 使用後も当分の間は、塗布部へ紫外線が当たることを避ける必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	正	誤
5	誤	誤	誤

【問 4 8】

みずむしに使用される外皮用薬の剤型選択に関する記述について、次の a～c の ( ) に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

湿潤している患部には、( a ) が適するとされる。( b ) は有効成分の浸透性が高いが、患部に対する刺激が ( c ) 。

	a	b	c
1	軟膏又はクリーム	液剤	強い
2	液剤	軟膏又はクリーム	弱い
3	軟膏又はクリーム	液剤	弱い
4	液剤	軟膏又はクリーム	強い
5	軟膏又はクリーム	粉末	弱い

【問49】

局所麻酔成分の正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アミノ安息香酸エチル
- b. 塩化セチルピリジニウム
- c. 塩化リゾチーム
- d. 塩酸ジブカイン

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (a, d)    4. (b, c)    5. (b, d)

【問50】

次のa～cのガムタイプの禁煙補助剤に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ゆっくりと断続的に<sup>か</sup>噛むのではなく、菓子のガムのように<sup>か</sup>噛まなければならない。
- b. 口腔内<sup>くわう</sup>を酸性にする食品を摂取した後しばらくは使用を避ける。
- c. 使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を超える使用は避ける。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問51】

ビタミンB<sub>1</sub>主薬製剤に関する記述を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. しみ、そばかす、日焼け・かぶれによる色素沈着の症状の緩和に用いられる。
2. 神経痛、筋肉痛・関節痛（腰痛、肩こり、五十肩など）、手足のしびれ、便秘、眼精疲労、脚気の症状の緩和に用いられる。
3. 末梢血管障害による肩・首すじのこり、手足のしびれ・冷え、しもやけの症状の緩和に用いられる。
4. 骨齒の発育不良、くる病の予防に用いられる。
5. 目の乾燥感、夜盲症（とり目）の症状の緩和に用いられる。

【問52】

次のa～cの（ ）に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

（ a ）は、角質の<sup>しん</sup>芯が真皮に<sup>しん</sup>くい込んでいるため、圧迫されると痛みを感じるのに対して、（ b ）は、角質層の一部が単純に肥厚したもので<sup>しん</sup>芯がなく、通常、痛みは伴わない。（ c ）は、角質成分を溶解することにより角質軟化薬に配合される。

	a	b	c
1	たこ	うおのめ	白色ワセリン
2	たこ	うおのめ	サリチル酸
3	うおのめ	たこ	サリチル酸
4	うおのめ	たこ	白色ワセリン
5	いぼ	うおのめ	白色ワセリン

【問53】

滋養強壯に用いられる漢方処方製剤の正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. おうれんげどくとう 黄連解毒湯
- b. じゅうぜんたいほとう 十全大補湯
- c. だいまいこうとう 大柴胡湯
- d. ほちゅうえっきとう 補中益気湯

1. (a, b)    2. (a, d)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問54】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 漢方処方製剤は使用する人の証（体質及び症状）を理解し、その証にあった漢方処方製剤を選択する必要がある。
- b. 生薬製剤は、作用が緩和で、副作用がない。
- c. 漢方薬は、漢方の考え方に沿うように、生薬が一定の規則によって組み合わせて構成されたものである。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	正
5	正	誤	正

【問55】

次の a ~ c の消毒薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 消毒は、物質中のすべての微生物を殺滅するために行われる処置である。
- b. 消毒薬の溶液中で生存、増殖することが出来る微生物はいない。
- c. 次亜塩素酸ナトリウムは、酸性の洗剤と反応して有毒な塩素ガスが発生するため、混ざらないように注意する必要がある。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	正
5	正	誤	正

【問56】

解熱、鎮<sup>けい</sup>痙等の作用を期待して用いられるマメ科のクズの根を用いた生薬を次の1~5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. カッコン
- 2. サイコ
- 3. ショウマ
- 4. ブクリョウ
- 5. ボウフウ

【問57】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 衛生害虫の防除を目的とする殺虫剤は、医薬品又は医薬部外品に該当する。
- b. フェノトリンには、シラミの刺咬による<sup>かゆ</sup>痒みや<sup>は</sup>腫れの症状を和らげる作用がある。
- c. ピレスロイド系殺虫成分は、除虫菊の成分から開発された成分である。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	誤

【問58】

次のa～cのディートを含む忌避剤に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 外国において動物実験（ラット皮膚塗布試験）で神経毒性が示唆されている。
- b. 生後6ヶ月未満の者への使用は避ける。
- c. 生後6ヶ月から12歳未満の者への1日の使用限度は特に定められていない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問59】

次のa～cの尿糖・尿<sup>たん</sup>蛋白検査薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 尿<sup>たん</sup>蛋白の場合、原則として早朝尿（起床直後の尿）を検体とする。
- b. 検査薬は、長い時間尿に浸した方が、正確な検査結果が得られる。
- c. 検査結果が陽性の場合には、早期に医師の診断を受ける必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	正

【問60】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 妊娠検査薬は、妊娠の早期判定の補助とするもので、その結果をもって直ちに妊娠しているか否かを断定することは出来ない。
- b. 妊娠検査薬は、尿中のグルカゴンの有無を調べるものである。
- c. 経口避妊薬や更年期障害治療薬を使用している人では、妊娠していなくても検査結果が陽性になることがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	正